

## PRECiV

## リリースノート

## PRECiV 2.1.1 リリースノート(2024年4月) Build 32039

ID	タイトル	説明
R-3849	動画撮影機能を PRECiV Core と PRECiV Capture の標準機能へ追加	動画撮影は、PRECiV 2.1.1 ですべての PRECiV パッケージの標準機能になりました。
R-3848	取得後の「手動デバイスの状態確認」が使用できないバグを修正	「取り込み後、デバイスの状態を確認する」が選択されている場合、手動コンポーネントではデバイス状態を尋ねるウィンドウが空になる問題を修正しました。
R-3847	レンズ交換時の警告表示によりレンズ衝突の危険を軽減	PRECiV DSX にて、取り込みプロセスに対して定義された現在の Z 座標、ポジションリスト内のポジション、および定義された Z リミットは、挿入されたレンズアタッチメントのタイプに適していない場合があります、電動ズームヘッドを動かすと、対物レンズがサンプルと衝突する可能性があります。  PRECiV DSX で UIS2 -> XLOB -> SXLOB レンズアタッチメントタイプを変更するときに、メッセージが表示されるように修正しました。
R-3846	ベストイメージで取得したプレビュー画像が大きすぎる問題を修正	PRECiV DSX でベストイメージを取得する場合、取得したプレビュー画像が大きすぎて、数秒間サムネイル プレビューするには適していない問題を修正しました。
R-3845	SZ61 と SZ51 のズームテーブルを更新	SZ61、SZ51 の定義済みズーム倍率と、ズームドライブに表示されるズーム倍率が異なっていたため、修正しました。
R-3844	反射光（精細）アルゴリズムでインスタントパノラマと EFI が動作しないバグを修正	インスタント パノラマと EFI を同時に使用すると、反射光（精細）アルゴリズムを使用して EFI 情報が適切に動作しないバグを修正しました。
R-3842	Shadow Contrast 画像取得後の MIX 画像がモノクロになる問題を修正	シャドウ コントラスト モードでベスト イメージを取得した後、MIX イメージはカラー モードに戻らないバグを修正しました。
R-3841	水平および垂直の測定を PRECiV Core および PRECiV Capture へ追加	Stream Basic または Essentials から PRECiV へ移行する場合、垂直方向および水平方向のインタラクティブな測定ができなくなるため、PRECiV Capture および Core に機能追加しました。

ID	タイトル	説明
R-3840	DP75 の解像度改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DP75 の 4K 解像度</li> </ul> DP75 カメラは、PRECiV 2.1.1 で 4K 解像度 (3840x2160) をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EFI 解像度制限</li> </ul> DP75 の EFI 画像 は最大 12 MP (4096x3000 ピクセル) まで取得できるように改善しました。
R-3839	PRECiV DSX : ズームヘッドのタイプに合わせてベストイメージを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ズームヘッドの種別に応じたベストイメージの設定をするように改善しました。</li> <li>・ 観察モードに応じたベストイメージ設定が可能になりました。</li> </ul>
R-3838	PRECiV DSX : DSX10-SZH がベストイメージ機能に対応	ベストイメージ機能がスタンダードズームヘッド (DSX10-SZH) に対応しました。
R-3837	ディープラーニングのパフォーマンスの向上	従来、コンピュータに専用の GPU が搭載されていない場合にはニューラル ネットワークの処理に時間がかかっていたのを改善しました。  CPU でも直接処理を実行できるようになりました。
R-3836	ニューラルネットワークを使用したライブ欠陥認識追加	PRECiV の 観察タブに ライブ AI モードを追加しました。
R-3835	EFI アルゴリズム計算パラメータの調整	EFI で取得した 3D 画像のレンダリングパラメータを変更しました。  新しいアルゴリズムでは、関連するすべての光学コンポーネント (対物レンズと光学ズーム) に合わせた調整をしています。
R-3834	PRECiV DSX : Z 繰り返し性の確認	EVIDENT のサービス担当者が繰り返し性の確認を実行する機能を追加しました。
R-3833	PRECiV DSX : メーカーキャリブレーションのサポート	EVIDENT サービス担当者が実行する DSX1000 のキャリブレーションをサポートしました。